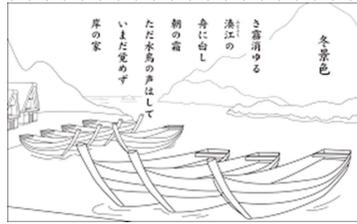


研究所だより

第422号
2020年12月10日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ さ霧消ゆる 湊江 (みなとえ) の 舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の 声はして いまだ覚めず 岸の家 ”
『冬景色』 文部省唱歌 1913年(大正2年)



～ 冬の到来 おおさむこさむ ～

今年もはや12月。暦の上では7日は「大雪」です。「雪が激しく降り始める頃で、土には霜柱が立ち、水たまりなどが凍り、平野部でも積雪が見られる頃」と言われています。また冬特有の真っ青な高い空を見ることもできます。冬が深まっていく季節、栄養豊富な旬の食べ物をたくさん食べて、体の芯から温まって元気に過ごしましょう。



第3回特別支援教育コーディネーター連絡協議会(あすなろネットワーク)☆

11月24日(火)に第3回特別支援教育コーディネーター連絡協議会(あすなろネットワーク)を開催しました。

講師にスクールカウンセラーの小松宏暢さんをお迎えし、『学級で使える集団づくりについて～エンカウンターを中心に～』と題して、講話とグループ演習を行いました。

はじめに、小松さんは学級集団のことエンカウンターのことについて話してくれました。

「まとまりがある学級には下記に示した『ルール』と『リレーション』の2つの要素が同時に確立していることが必要です。

【ルール】

学級内の対人関係に関するルール、集団活動・生活をする際のルールのことで、学級の全員が理解され、定着していることが重要。ルールが定着していれば、対人関係のトラブルは減少し子どもたちは傷つけられないという安心感の中で、友人との交流も促進される。

【リレーション】

互いの構えのない、ふれあいのある本音の感情交流がある状態。学級内の対人関係の中にリレーションがあることで、子ども同士に仲間意識が生まれ、集団活動(授業、行事、特別活動など)が協力的に、活発になされる。

集団づくりの際には、構成的グループ・エンカウンターを導入し、『ホンネとホンネの共有』『心と心のキャッチボール』を通してエンカウンター体験を深めていきます。

構成的エンカウンターの柱は、①エクササイズと②シェアリングを中心に行います。

①エクササイズ

企画者(ファシリテーター)が考えるねらいを達成するために用意された課題。持ち時間や参加者、目的に応じてエクササイズの内容等は変わってくる。このエクササイズを中心に展開していく。

②シェアリング

分かち合いや振り返り。エクササイズを振り返ることによって、そこでの気づきや感情を明確化し、ねらいを定着化させる働きを持つ。

エンカウンターのねらいは、

- ①同年齢集団と関わる機会を通じて、情報交流を促す → 自分の居場所への安全・安心を体験する。
- ②他者への適切な接し方(ソーシャルスキル)の獲得を促す → 適切なふるまい方を身に付ける。よりよい人間関係づくり・集団づくりに繋げていきます。

エンカウンターの特徴は、

- ①クラスなど多人数のメンバーで活用できる
- ②共通体験の中で起こった感情についてメンバー相互の交流を促す
- ③交流の方向や深度をコントロールできる
- ④短時間でできる
- ⑤経験の少ない人でも十分行うことができる

学校という場における構成的グループ・エンカウンターは、計画的に学期に1回、年間3回実施することが望ましい」と話してくれました。

講話後、全員で「誕生日チェーン」をしてグループ分けをし、「MSSM (Mutual Scribble Story making)」という演習を行いました。この「MSSM」は絵を描く作業で、知覚、運動機能、認知能力、抽象能力、言語能力といった子どもの発達段階がとてよく反映されます。

例えば、人を描くには、身近な人の外見を見て正しく認知し、クレヨンなどを手に持って、腕の力や動きを調節しながら認知したとおりに描きだす必要があります。ある年齢までの子どもは、自分が持てる力を全て発揮して絵を描くため、発達水準を把握するための情報を得やすいとされています。もちろん、絵を見るだけで子どもの知的水準を確定的に判断することは難しいが、意味のある推測は可能です。

絵を描く作業やグループメンバーとの関わりの中でリラックス効果もあるとされています。

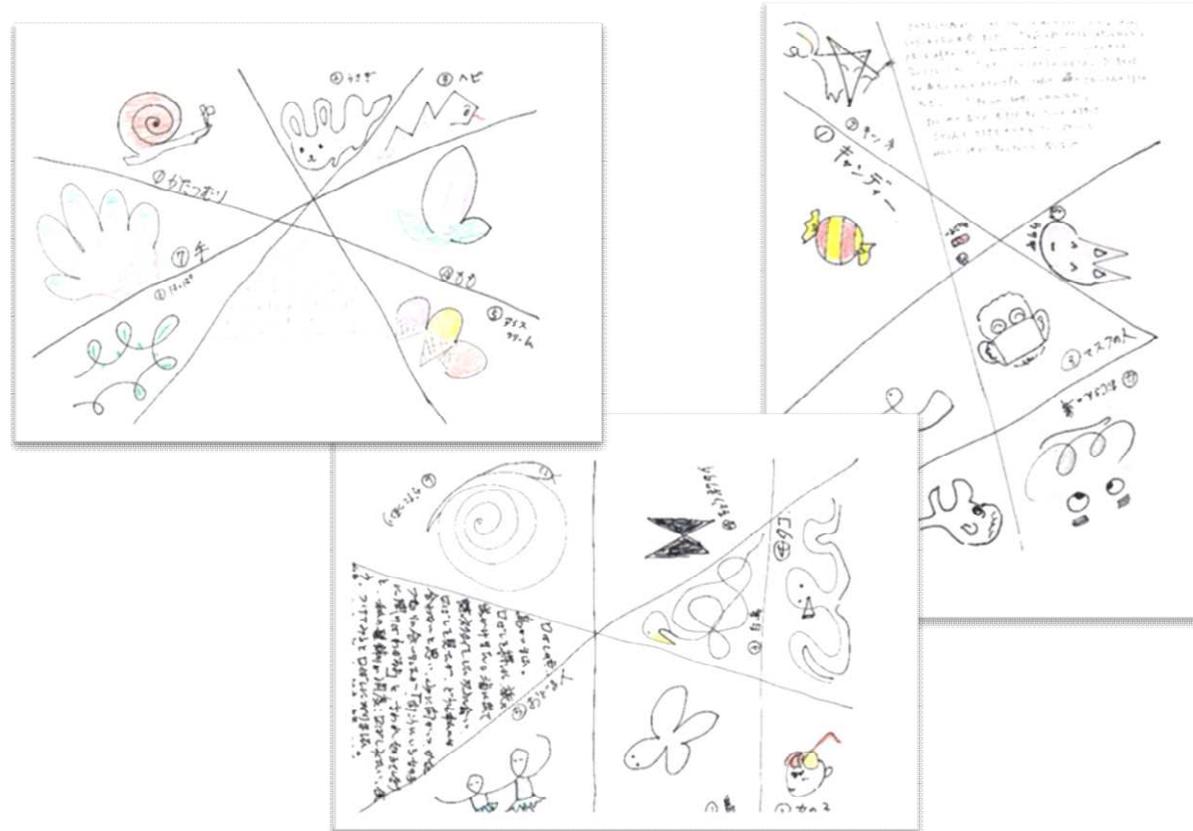
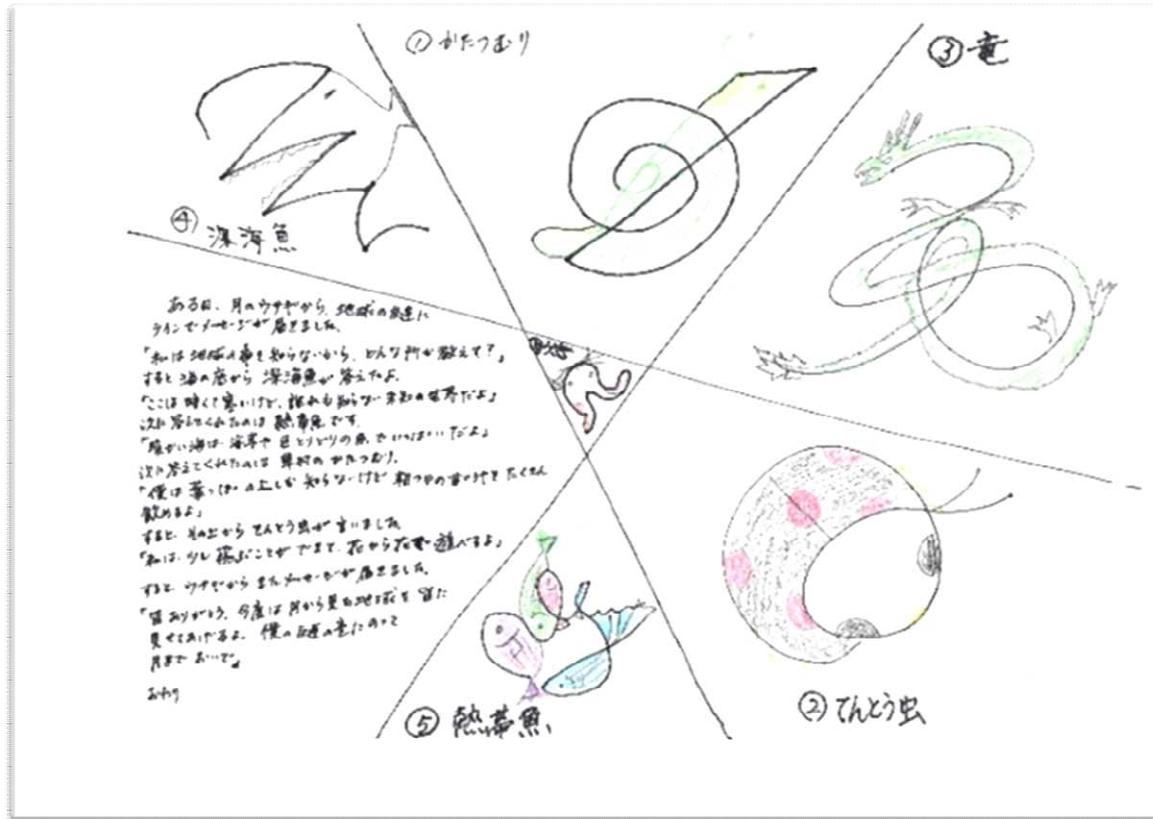
- 1) 用意するもの・・・八つ切り画用紙、サインペン、クレパス
- 2) 施行法・・・まずセラピストが枠付けを行う。クライアントが枠内を6～8コマに分割する。ジャンケンで順番を決め、両者が交互に1コマずつスクイグルに準じて描画していく。最後に残った1コマには、クライアントが各コマの絵を全て使って物語を作り、それを記入する。
- 3) 特徴・・・1枚の絵で作品が完成する。物語を作ることで、投影したものを再び「意識の糸で縫い合わせて」統合させることが可能となる。

～ふりかえり～

・文面だけでは難しく感じましたが、バースデーラインやMSSMなど実践すると大人でも楽しめました。
子どもたちの年齢に合わせて色々かえてみたり、幅広く使えてとても良いと思いました。
皆で一緒に考えたり、力を合わせてできた達成感もあり、集団づくりにとても良いと思いました。

・演習と聞くと、緊張してしまいましたが、さすがエンカウンターですね。
リラックスでき楽しい時間を過ごすことができました。
子どもたちにも、今日の私のような楽しい集団づくりを味わせてあげたいと思いました。
学校にもち帰って、担任の先生にMSSMを教えたいです。

《 MSSM の成果物 》 各班とも各コマのイラストを使って物語を完成させました！



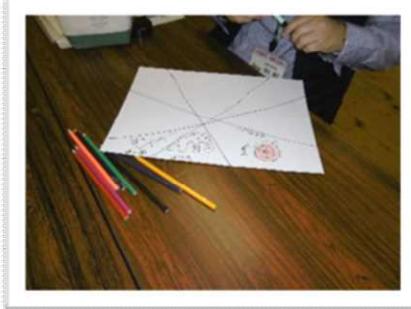
[講話]



[楽しく誕生日チェーン]



[演習]



[スクイグルに合わせて描画する]



[物語の発表]



= 教研関係提出物について =

○各部会		○研究協力校	
* 部会決算書提出	12月24日 (木)	* 研究集録原稿	1月29日 (金)
* 事業実績報告書	1月29日 (金)	* 決算書・実績報告書	2月17日 (水)
* 総括教研部会報告書	1月29日 (金)		
* 研究集録原稿	1月29日 (金)		